

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年 2月28日

事業所名:多機能型事業所 育ち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・利用児の数が多場合は、活動ごとに利用児を分けて療育を行っている ・年齢や特性に応じた小集団活動や専門士などの個別支援に応じられる空間作りや活動部屋を時間差で工夫して利用している。	・今後も専門士の個別支援にも応じられる空間作りを意識していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・常に指定基準を満たし、専門士や加配の職員も配置するようにしている ・ST・PT・OT等の専門士、保育士、児童指導員等の有資格者を適切に配置している。	・常に利用児への丁寧で意味のある支援が出来るよう指定基準を満たすことと、ST・OT・PTの専門士が常駐しているので利用児の数や特性等に合わせた職員配置の数を調整することを意識している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・駐車場から事業所入り口までがスロープになっている ・段差など少なく、怪我防止に考慮した作りになっている。 ・危険な箇所がないように安全点検を行なっている。	・子どもが認識しやすいういよに unnecessary のものは置かずシンプルな空間作りを努めている。 ・刺激の少ない環境設定を心掛け、視覚提示の絵カードなどを有効活用している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・活動後は室内清掃を行い、活動に使用した備品や遊具等は、都度消毒等を行っている。 ・活動後のトイレ等は薄めた次亜塩素酸を使用し、清拭清掃も行っている。 ・感染症対策も兼ね、常時対角線上の窓を開け換気している。 ・送迎車も常に降車後の清潔、消毒等を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・日々朝礼、終礼時にその日の計画、振り返りを行っている。	・特に支援方法等で悩んでしまう内容等については、外部顧問に相談し、全職員研修時に顧問も交えたグループ討議等を行い今後に生かしている。今後も、皆で話し合いより良い療育支援に尽力していけるよう心がけたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者からの意見や要望を大切にし、必要時はミーティング時に話し合い、改善へと繋げている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページやSNSを用いて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・外部講師による療育・環境に対する評価を受け、業務改善に生かしている。 ・公開療育で同業者との情報交換やご意見を参考にしている。	・保育園等からの要望にお応えする形で、園の担任の先生方の訪問・療育参観を行った。その際に行った情報共有等は利用児理解を深めるものとなり、非常に有効だった。今後も、このような取組を積極的に取り入れていきたいと思う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部講師による全体研修を定期的に行なっており、指導助言をいただいている。 ・全職員による活動交流会、保育士等と専門士等との活動に対する融合の時間を月に1回設定し、事業所内研修を行っている。 ・月に1回、OTやPTによる勉強会や事例検討を行い、支援を振り返る機会を設けている。 ・スキルアップ研修・虐待防止研修など積極的に参加している。	・できるだけ多くの職員が研修を受けられ、積極的に研修に参加し、職員全体がスキルアップを図れるよう人員配置に考慮し、療育場面への影響が最小限になるよう工夫している。今後も、シフトの組み方など配慮しチーム力を上げていきたい。 ・事業所内研修について専門家による職員研修を取り入れているが、今後も様々な分野に対して外部の専門家を招聘し学びを深める機会を作っていきたいと思う。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・児童発達支援管理責任者が個別支援計画の更新等に基づき面談等を実施している。 ・モニタリング等て振り返りを行い、職員間での会議録に基づいてニーズに沿った計画を児童発達支援管理責任者が立案している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・標準化されたアセスメントツールをベースにST,PT,OT等の専門士による評価も生かす形で職員間で情報共有し、支援をしている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援ガイドラインに基づき、適切な支援内容を設定している。	・児童発達ガイドラインに合わせて、今後も家族内の困り感等も職員間で周知対応していきたい。 ・今後も園等からの支援方法等での問い合わせや困っていること等について丁寧な担当者会議等を繰り返し行ったり、保育所訪問支援に繋いだりしながら、同じ方向を向きながら関わっていけるよう連携を強化していきたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・個別支援計画に沿って話し合いをし、共通認識の中、児童発達支援計画に沿った活動を立案・実施している。 ・特性に合わせて個別に対応した支援を行なっている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・前日に翌日の利用児の様子を振り返り、個別支援計画を確認しながらねらいを考え作成している。 ・ST・PT・OT等専門士と連携を取りながら全職員で話し合い、立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・子どもの年齢や特性に合わせて、様々なプログラムを行っており、フィードバックの反省点を踏まえて次の活動を考えている。 ・同じ課題でも変化をつけ、活動に繋げている。 ・前の週に行った活動を振り返り、活動が固定化しないよう工夫している。	・PT・OT・STの専門職と保育士等が融合しながら活動を立案しているが、もっと専門的な指導助言ができるようスキルアップを目指したい。また、そこが「育ち」のストロングポイントなので、常に意識し、利用児はもちろん保護者への安心感にも繋いでいきたいと考えている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・個別支援計画の項目に応じて対策を講じている。 ・専門職と連携を取り、特性やその時の子どもの様子や環境を踏まえて作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝礼や夕方のミーティングで必ず当日来所児、担当職員、活動内容、送迎中での様子など細かく確認している。 ・どの利用児にどの支援員がつかのか、子ども一人ひとりの様子や行動に対しての対策なども打ち合っている。	
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・午前・午後の支援終了後に支援の振り返りを全職員で行ない、明日以降の活動への見通しを話し合っている。 ・記録を取り、不在だった職員も含め、申し送りの回覧を確認・共有している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・療育用管理ソフトを活用し、日々の支援に関することについて記録に残している。 また、保護者へも連絡帳として活用し連携している。 ・特に至急改善が必要な場合はすぐに職員間で話し合い共通認識の元、対応策を立てている。 ・すべての記録は、不在職員にも周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な外部講師による職員研修で、事例検討会を実施し、グループ協議を通して支援の検証・改善につなげるよう努めている。今後もスーパーバイザーの指導助言を取り入れながら、支援に工夫を取り入れていきたいと思う。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が定期的にモニタリングを行い、支援内容の見直しの必要性を常時検討しており、議事録で情報共有している。 	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達管理責任者はすべての利用児の情報を把握している為、毎回必ず参画している。 ・同じく児童発達支援管理責任補助者も同席し、記録者の役割等を果たしている。 ・児童発達支援管理責任者・補助者のほか、必要時には保育所等訪問支援員や専門職が同席することもある。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・南部保健センターをはじめ、各関係機関と連携し支援を行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在、医療的ケアを必要とする児童がいないが、今後、受け入れる場合は対応していきたいと思う。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在、医療的ケア児を受け入れてはいるが、今後、受け入れる場合は体制を整えていきたい。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・日々の電話やメールでの連絡に加え、送迎時にも積極的に情報共有を行なっている。 ・必要性や要望に応じて保育所等訪問支援や保育園等からの訪問対応を行い、相互理解を図っている。 ・積極的に担当者会議を設定出来るよう努めている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・進級・進学に向け、保育園・幼稚園・保護者を通じて、情報共有を行なっている。	・進級・進学に向けて、保育所等訪問支援も交え、より深い情報共有が出来るように働きかけたい。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・併用先の事業所等と連携し、併用先訪問を行い、意見交換を通じて利用児把握等を行っている。 ・子ども療育センターと情報交換を行なっている。	・今後、より地域の状況やより良い療育・サービスを提供できるよう更に連携を強化していきたい。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・戸外活動時に地域の子どもたちとの交流をしている。	・機会を捉えて、もっと交流の場を作っていきたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・担当を決めて参加している	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡ツールやSNSを利用して行なっている。 ・専門職は、個別活動を実施した利用児の保護者へは、「専門士ファイル」を作成し、情報提供している。 ・送迎時や面談時に対面できる方には直接伝えている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・面談時など利用児の様子を定期的に見学してもらい、保護者の相談にのるよう心掛けている。 ・職員は、ペアレントトレーニングについて外部講師による職員研修を受けている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・運営規定は事業所の玄関に掲示し、契約時に丁寧な説明を行なうことを心掛けている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・面談時に児童発達支援管理責任者から支援計画について丁寧な説明を心掛け、保護者へ理解していただいた上で同意の署名をもらっている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・必要に応じて(面談を希望される場合など)直接面談も実施している。 ・常時、保護者から相談を受け付け、丁寧に対応するよう努めている。 ・保護者の希望に沿ってスーパーバイザーに繋ぎ対応する。	・相談できる体制を整えているので、送迎時やSNSで相談を受け、面談している。今後も要望があった時だけでなく、こちらから気軽に相談できる場であることを伝えていく。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者向けの講演会を実施し、保護者間の交流を図る場を設けた。	来年度は、保護者向け講話実施後に、講師も交えた座談会を開催するよう計画している。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・相談があった際には、誠実に対応・解決するよう努めている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・保護者ライン等を使って情報発信している。またホームページやSNSも活用している。 ・必要に応じて保護者向けプリントを作成・配布している。	次年度からは、毎月の利用計画書の裏面に月報を作成・掲載する計画を立てている。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報ファイルは鍵付き書庫に保管している。 ・インスタグラムの写真等も取扱いには注意して掲載している。 ・職員も個人情報取り扱いについての研修を受け、意識付けを行なっている。	公開療育等の研修に来所された方には、肖像権に関する承諾書を取り、ホームページ等に掲載する際も個人情報には十分留意し、今後も継続していきたいと思う。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・連絡ツールを用いて日々の活動の様子を具体的に伝えている。 ・絵カードなどの視覚支援も行なっている。	
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・地域の中学校の職場体験学習を受け入れ、3日間交流を図った。(ホームページに掲載)	・今後も利用者や地域の状況、感染症の感染状況等をふまえて検討していきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・各マニュアル等、いつでも閲覧できるような事業所にファイリングしていると共に職員への研修も実施している。	感染症や緊急時に関する対応について、委員会を定期的に開催し、マニュアルの見直し等も随時行っていくよう努める。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎月1回、子どもと職員で活動の一環として避難訓練を実施している。(火災・地震・風水害・不審者対応等) ・ホームページやインスタグラム等に紹介	次年度は、隣接する歯科医院と共に避難訓練を実施できるよう計画を進めていく予定。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・母子手帳の記載内容は把握している。 ・契約時に確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・契約時にアレルギー調査を実施し、留意事項等について確認し、全職員で共有している。 ・アレルギーが関係しそうな活動時は事前に保護者へ連絡している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事例があがった際は、報告書を作成し、職員間で情報共有をしている。 ・外部講師による職員研修の中で、事例についてグループ討議し、指導助言を得ている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・身体拘束・虐待防止委員会を定期的に開催し、職員間で共有している。 ・身体拘束・虐待防止に係る職員研修を実施している。 ・強度行動障がい支援者養成研修を全ての職員が受講できるようにし、意識の向上を図っている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・利用契約書に記載しており、契約時に説明を行ない、同意を得ている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)